

多賀城市災害対策本部からのお知らせ

平成23(2011)年9月12日(月)午前9時発表

多賀城市内の被害状況	
・死亡者	188名
(内訳) 男性	113名
女性	75名
・行方不明者	1名
・避難者数	60名
	(31世帯)

菊地健次郎市長から

残暑がまた厳しくなるとの予報ですが、そう長くは続かないと思われま
ので、職員にあっては体調管理に努めて復旧、復興に当たるようにしてくだ
さい。

先日、村井嘉浩宮城県知事が、10月末までには宮城県内の避難所が閉鎖
できるようにしたい旨の発言をしておりましたが、多賀城市でも9月19日
に避難所が円滑に閉鎖できるようお願いします。

今回の地震に関する検証を始めた市町村もあるようですが、多賀城市にお
いても早い時期に検証を進めるようにしてください。

市役所各部から

9月8日(木)にセアカゴケグモが発見された件について

午前8時45分に栄二丁目の市道で、道路公園課から工事を請け負った
業者が発見し、生活環境課に通報がありました。

それを受けて、宮城県塩釜保健所に通報しました。

宮城県塩釜保健所で調べた結果、セアカゴケグモのメスと判断されまし
た。

市内の小・中学校及び保育所には携帯電話の一斉メールで通報しまし
た。

また、市のホームページ、携帯サイトで広報しました。かつ、各報道機
関にも情報を提供しました。

栄二丁目周辺を中心に巡回広報を行いました。

9月9日(金)に栄二丁目を中心に道路側溝に薬物を散布し、かつ、継
続して巡回広報を行いました。

9月10日(土)、11日(日)に発見の情報はありませんでした。

セアカゴケグモの詳細については、宮城県塩釜保健所に問い合わせても
らうこととしました。

また、発見したら、個体にふれず、市販の殺虫剤を散布してもらうこと、併せて生活環境課にも連絡してもらうこととしました。

伊豆の国市において被災高齢者との交流事業が行われておりますが、現在、第3班が訪問中で、今週戻ってくる予定です。

9月16日(金)午後7時から宮内地区住民との意見交換会を震災復興推進局と共催で開催します。

9月10日(土)に多賀城ロータリークラブが結成40周年を記念して主催した「結 大震災プロジェクト」が多賀城跡近くで行われました。

これは、震災後、ガレキの中で花を咲かせたスイセンを、復興のシンボルにしようとするもので、当日は、ボランティアら80人が集まり、2時間かけて1万個のスイセンの球根の植え付けを行いました。

また、同プロジェクトでは、11月に寿命が1000年以上とされる、神代桜、淡墨桜、久保桜の記念植樹も行う予定です。

水道水の放射能を測定したところ、仙南仙塩広域水道、仙台分水及び末の松山浄水場とも放射能の値は不検出でした。

本日、震災復興推進本部会議を、9月14日(水)には震災復興検討委員会を開催します。